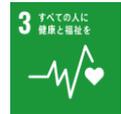


# 令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	75	学校名	仙台市立茂庭台小学校	校長名	及川 卓也
------	----	-----	------------	-----	-------

1 テーマ①「食品ロスを少なくしよう」



テーマ②「節電・節水を心がけよう」

2 取組の紹介

(1) はじめに

本校では、一昨年度より上記のテーマ①を設定して学校全体で給食の食べ残しを少なくするための取組を推進してきました。その結果、「できるだけ残さずに食べる」という意識が児童の間で高まり、校内全体での残食量が少なくなりました。今年度は、給食が食べられることを当たり前と思わず、世界中で困難な状況に置かれている人々のことも考えて「食に感謝する態度」を育てていくというねらいのもと、同じテーマで継続して活動することになりました。

また、「廊下やトイレなどの蛍光灯の消し忘れが目立つ」という声が職員の間で聞かれたため、テーマ②を設定して12月から取組を進めてきました。エネルギー資源を節約するために、まず職員が教室やトイレの節電・流し場の節水に努め、児童にも心掛けさせることにしました。

(2) 取組の具体例

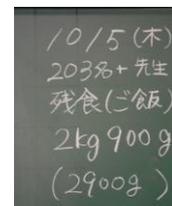
<テーマ①について>

- 各教室に「食品ロスを少なくしよう」の標語を掲示しました。
- 第5学年では、一日に出た学校全体でのご飯の食べ残しの量をもとに、一人当たりの残食量を調べました。
- 1月の「給食週間」に合わせて、4～6年生を対象に「食品ロス問題に関する標語」を募集しました。



<テーマ②について>

- 各教室に「節電・節水を心がけよう」の掲示物を貼り「節電・節水」に対する意識を高めました。
- 天気の良い日は、休み時間に教室のカーテンを開けて太陽光を採り込むようにしました。
- 廊下や通路の照度が自然光により十分に確保されているときは、廊下や通路の蛍光灯を消すようにしました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）と課題

- 各学年で「給食を残さないように！」という意識が前年度以上に高まり、残食が明らかに減りました。全校一斉の活動期間が過ぎても、自主的に取り組む学級が増えました。
- 5年生は、校地内で育てて収穫した米の量と学校全体でのご飯の残食量とを比べました。米作りを体験し、その大変さを実感したことで、米一粒残さず食べるようになりました。
- 標語の募集に前年度を上回る数の作品が集まり、想を練ったものが多く見られました。3月の給食の献立表に入賞作品を掲載しました。\*金賞「残さずね 食べられるだけ ありがたい」
- 各学級で「電気係」や「当番」を中心に、教室の環境や安全・衛生面を考慮した上で無理のない範囲で「節電・節水」に取り組むことができました。以前に比べると、児童が下校してから廊下やトイレの蛍光灯が点いたままの状態であることが少なくなりました。
- 「食品ロス」に関しての取組は、本校のエコ・スクール活動として定着したように感じます。一方で「節電・節水」については、取組を始めてからまだ2か月で学校全体に浸透しておらず、児童が主体の特色ある活動をいかに工夫して進めていくかが今後の課題になります。